

村上ゼミ 3年連続入賞の快挙 大山さんら 日本ユニセフ協会コンテスト

日本ユニセフ(国連児童基金)協会主催の「第3回 One minute video コンテスト～世界へ届けよう 1分間の映像メッセージ～」に人文学部メディア文化コースの村上信夫ゼミに所属する大山紗登美さんが代表を務めるグループが入賞を果たしました。



村上ゼミからの入賞は、3年連続の快挙。

大山さんは、「多数の応募の中からこのような賞を頂くことができ、とてもうれしく思います。メッセージをどのように工夫し伝えるか、何度も話し合い、知恵を出し合ったからこそ、この結果につなげることができました」と喜んでいる。

受賞した作品のテーマは“1分間に亡くなる子どもの数”。世界ではたった1分間に12.5人の5歳未満の児童がこの世を去っているという統計がある。この悲しい現実を、より多くの人に知ってもらいたいとのメッセージが込められている。

ビデオは、メディア文化コースの「映像制作論」で、村上教授の指導の下、いずれも3年の大山さん(写真中央)、三好由莉子さん(村上ゼミ、写真右)、後藤美咲(菅谷ゼミ、写真左)がグループ「OGM」を結成し、知恵を絞って、制作した。

第3回One Minute Videoコンテストには、429の作品の応募があり、その中から茨大グループの作品を含む30作の入賞が8月に決まった。昨年は、新井リカさんらの「すべての子供たちに5歳の誕生日を」、一昨年は、山田香織さんらが制作した「ビーバース」が入賞している。入賞したビデオを閲覧するためのアドレスは、以下。

<https://www.youtube.com/watch?v=HGK5dqtH07M>

(了)